

4D v17R3 リリースノート

2019年1月15日

バグ修正リスト

英語版 : http://bugs.4d.fr/fixedbugslist?Version=17_R3

日本語版 : <https://4d-jp.github.io/2019/01/07/release-note-version-17r3/>

前のバージョンのバグ修正リスト :

v17.R2

英語版 : http://bugs.4d.fr/fixedbugslist?Version=17_R2

日本語版 : <https://github.com/4D-JP/release-notes/tree/master/v17/r2>

Windows7D の最小限必要な環境

Windows 7: マイクロソフトのアップデートは全てインストールされることを強く推奨します (システム設定のアップデート・ダイアログを使います)。KB2999226 アップデート (2015年9月) は、api-ms-win-crt-runtime-1-1-0.dll に関するエラーを回避するために必須です。マイクロソフトはすでに Windows 7 のサポートを終了し、拡張サポート (セキュリティ・ファイル) もまもなく (2020年1月) に終了します。4D 社では Windows 10 へのアップデートを提案します。

32-bit 対応の終了

次の R リリース (4D v17R4) は 32-bit バージョンを含む最後のリリースです。4D では v17R5 より 32-bit バージョンの製作を中止します。

macOS Mojave (10.14)での 4D ウィンドウのリサイズのちらつき

ユーザーが 4D ウィンドウのサイズを変更すると、ウィンドウの境界が黒く点滅してちらつくことがありました。これは macOS Mojave 上でコンパイル・モードもしくはインタープリタ・モードの場合に発生します。

Blob パラメータのより正確な検出

コンパイラーは、Blob 変数を使用する時の不一致をより正確に検出するように強化されました。4D v17R3 のコンパイラーは、コマンドが Blob を必要としているのに、Blob 以外のパラメータを受け取ると、エラーを表示します。

インデックス化されたオブジェクト・フィールドの支障

保存されているデータやデータの作成方法によって、オブジェクト・フィールドのインデックスは不正確に

なることがあります (4D v15-v17 と v17 R3 を含む)。これはごく稀にしか発生せず、再現ができません。不具合の一部は、例えば . ' “ [] のような特別な文字のプロパティ名を使ったオブジェクトを持っていることに起因します。これによりインデックスは破損し、オブジェクト・フィールド内の属性の照会が失敗する可能性があります (ACI0098796)。この発生を防ぐには、プロパティ名に特殊な文字を使わないようにすることです。思いがけずに特殊な文字をフィールド名に使用するリスクを軽減するために、将来の 4D (v17.1 や 4D v17 R4) では、内部的に処理する予定ですが、それでもデータベースの再インデックス化は必要です。

4D View Pro のデータ形式をアップグレード

4D v17 R3 では、メソッドを使用する 4D View フォームを 4D View Pro フォームに変換できます。これらのメソッドに与えられた日付と時間のフォーマット・パラメータは、ISO フォーマットの C_TEXT に変換されます。4D v17 R4 では、日付と時間は二つのプロパティを持つオブジェクトに変換されます。ひとつは日付用 (C_DATE)、もう一つは時間用 (C_TIME) です。

macOS Mojave (10.14) の日付と時間の表記のローカライズ問題インデックス化されたオブジェクト・フィールドの支障

macOS Mojave で 4D には無いローカライズが使われた時、日付と時間は US フォーマットで表示されます。例えば、Mac クライアントが「it.lproj」が存在しないイタリア語のローカリゼーションを使用している場合、日付は US フォーマットで表示されます。